

01 各種証明書入手方法について

令和7年3月より、卒業生への更なるサービス向上を目的に、「証明書発行サービス」をリニューアルいたしました。

※オンライン申請を利用した証明書発行に関して大学から領収書は発行出来ません。

オンライン申請検索はこちら▶ 神奈川工科大学 卒業生の皆様 証明書

検索



証明書の種類によっては、発送まで1週間以上要するものもございます。

証明書を申請される皆様は、あらかじめご理解・ご了承の上、十分余裕をもって申請くださいますようお願い申し上げます。
大学教務課 証明書係

02 静岡・東海地区 支部懇親会報告

日時：令和7年6月28日（土）12時～14時
会場：オークラクトシティホテル浜松/3階「メイフェア」
参加者数：27名（高専13名、大学8名、大学院5名、学園代表1名）

熊谷支部長、中山同窓会長、学園代表 鈴木常務理事の挨拶に続いて参加会員の紹介、椎名副会長の乾杯、会進行役二神理事より母校の近況報告、再び副会長より同窓会の近況活動報告やドローンによるキャンパス空撮紹介を交えながら会員皆様にはご歓談頂きました。

参加会員のスピーチや席を移動しての会員同士の和やかな懇談も進む中、畑同窓会前会長より座右の銘「まず健康、誠実、努力」をご紹介いただき、盛会のうちにお開きとなりました。



03 地区懇親会：今後のスケジュール

関西地区懇親会

開催日 令和7年10月19日 日曜 12時～
開催場所 ホテルグランヴィア京都
申込期日 令和7年10月5日

特別開催 高専懇親会

開催日 令和7年11月1日 土曜 17時～
開催場所 レンブラントホテル厚木
申込期日 令和7年10月18日

【高専懇親会 宿泊のご案内】

レンブラントホテル厚木 シングル（素泊まり）10,500円（税込）
※上記の料金は、ご宴会場ご利用30%割引となっております。禁煙、喫煙同料金
ご宿泊予約につきましては、宿泊予約へ直接ご連絡をいただきご宴会利用の旨お申し出ください。TEL:046-221-0001

九州地区懇親会

開催日 令和7年11月15日 土曜 12時～
開催場所 オリエンタルホテル福岡 博多ステーション
申込期日 令和7年11月1日

支部会・懇親会
会費 2,000円



参加はこちらのQRコードからお申込みください。(各会場共通)
<https://forms.gle/D7w3u8kgsTyqftC66>

04 名誉教授称号授与式を挙行



永年に亘り神奈川工科大学の教育・研究の分野において、多大な貢献をされた下記の方々に名誉教授の称号が授与されました。

＜令和7年度 名誉教授称号 授与者＞

小宮 一三 名誉教授（元神奈川工科大学 学長）
石綿 良三 名誉教授（元基礎・教養教育センター 教授）
西口 磯春 名誉教授（元情報学部 情報メディア学科 教授）
小机 わかえ 名誉教授（元工学部 機械工学科 教授）
谷中 一寿 名誉教授（元情報学部 情報メディア学科 教授）
三枝 康男 名誉教授（元工学部 応用化学生物学科 教授）
岡崎 美蘭 名誉教授（元情報学部 情報ネットワーク・コミュニケーション学科 教授）

■ 令和7年9月30日発行 ■ 発行人／中山 裕之 ■ 発行／幾徳学園同窓会
■ 幾徳学園同窓会事務局（学生課内） gakusei@kait.jp
〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野 1030 TEL.046-241-9394 FAX.046-242-3529
○ 住所変更及び問い合わせは上記へご連絡ください

■ 幾徳学園卒業生数（令和7年3月31日現在）
高専/1,152名 大学/40,519名 大学院/2,383名

■ 同窓会HP
<https://kait-ext.securesite.jp/kaitweb/>



Message 会長ごあいさつ



幾徳学園同窓会 会長

中山 裕之

幾徳学園同窓会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。同窓会では、春号でお伝えした広報活動の強化を進めておりますが、これまでHPについてはTOPページの見直し、会報誌については紙面刷新を進めました。引き続きHP改定、SNS活用と進めておりますので、皆様からのご意見等いただければ幸いです。

毎年秋号では社会で活躍されているOBの紹介をしてきましたが、今回は、学内で活躍されている卒業生、この4月に副学長になられた今井様、学園理事を務めている久保田様の2名を紹介させていただいております。学校運営にかかわるようになったきっかけやこれまでのエピソードをいただいておりますので、ぜひご一読ください。

同窓会総会につきましては、11月1日開催予定の幾徳祭・ホームカミングデーに合わせ、同日、皆様にお集まりいただき開催する予定です。今回は、先に述べました各種施策の進捗状況の報告、

今後に向けた方針を説明させていただき、会員の皆様には是非学園にお越しいただき同窓会活動へのご理解を深めていただくとともに、今も変化するキャンパス、学生の活動を見学していただきたいと思います。また、同日17時より、高専OB向けの懇親会をレンブラントホテル厚木にて開催しますので、該当の皆様にはぜひお寄りください。

支部会、地区別懇親会につきましては、内容の充実を図り、静岡・東海支部会には多くの方のご参加をいただき無事終了いたしました。今後、京都、福岡の各懇親会、教育関連業界支部会を別掲の通り予定しております。会員の皆様からの貴重なご意見をいただける場であり、世代間の交流の場でもありますのでより多くの方にご参加いただけますようお願いしています。

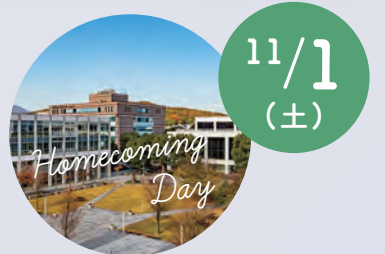
会員の皆様には引き続き健康にご留意いただき益々活躍されます事を理事一同心より祈念しています。

ホームカミングデーについて

幾徳祭（11月1日、2日）に合わせて、大学主催によるホームカミングデーが開催予定です。

- 開催日時 令和7年11月1日（土）11：00～15：00
- 受付場所 神奈川工科大学 K2号館1階

なお、詳しい内容につきましては、大学HP等でご確認をお願いいたします。



幾徳学園同窓会通常総会開催について

第52回通常総会を下記にて開催します。
会員の皆様のご参加をお待ちしています。

- 開催日時 令和7年11月1日（土）13:00～
- 開催場所 神奈川工科大学 K2号館3階 1307教室
- 総会次第 ※10月1日以降ホームページに掲載します。

教育関連業界支部会総会開催について

教育関連業界支部会（情報交換会）を下記にて開催いたします。
高校教諭、大学教職員他、教育関連業界にお勤めの方が対象です。

- 開催日時 令和7年11月30日（日）12:00～
 - 開催場所 神奈川工科大学 KAIT TOWN
- ※詳細は11月1日以降支部会FBに掲載します。





今井 健一郎 さん
神奈川工科大学 副学長 博士(工学)

1966年生まれ 愛知県出身
1987年4月 幾徳工業大学入学
1991年3月 神奈川工科大学工学部機械工学科卒業
1993年3月 神奈川工科大学大学院 工学研究科博士前期課程 機械工学専攻修了
1996年3月 博士後期課程 満期退学
1996年4月 神奈川工科大学大学院 工学研究科研究生
1997年4月 神奈川工科大学入職（助手）、博士号取得
2010年4月 准教授 就任
2024年4月 教授兼機械工学科長 就任
2025年4月 副学長 就任

「博士論文に挑戦して5年目の瀬戸際で助手になったのですから、本学に入職した1997年は大変な年。学位論文を書きながら学生達に授業をしました。最後は点滴を2度も打ちながら、フラフラになって挑戦し、何とか学位を取得。その実験や実習の授業で学生達から思わぬ高評価を得て、考えてもいなかった「教員の道」へ舵を切ることになりました。」

Profile

「何でもやってやろう！」大学生活での挑戦の日々 学生達の反応が導いた「教員」としての未来

【幼少期から本学入学までの経緯をお教え下さい。

今井 小学生の頃はかなり病弱でしたが、勉強面は長けていました。周囲の勧めで名古屋の中高一貫の男子校に進学。しかし高校生になった頃から受験勉強に懐疑的になってしまいました。大好きな本ばかり読んだり、好きなことだけをして過ごし、高校卒業後は2年ほどニート生活。このままではまずいと、3月に入試のあった幾徳工業大学を受験し入学しました。受験時まで本学がどこにあるのか実は知りませんでした。

【本学学生時代はどの様に過ごされましたか。

今井 大学入学前の2年間のブランクを取り戻そうと、オートバイ、スキー・スノボ、音楽バンド、ホバークラフト部の部活と積極的に動き回りました。長期休暇にはバイクで日本中を回り、アルバイト代の大半は旅に費やしました。男3人で350円のラーメンを食べるため往復6万円かけて車で博多に行ったり、面白い友人達にも出会いました。

学業では、試験前に10名ほどで集まり対策を練り、大がかりなレポートは友人達と手分けして書いたりしました。授業中はノートをとるのではなく、教科書に先生の言った重要ポイントを記入するという効率重視の方法で、成績は良かったです。

【教員を目指された一番のポイントをお教え下さい。

今井 教員を目指したことはありません。博士後期課程の3年間では学位を取れず、大学院に

研究生として残った2年目に本学機械工学科の助手の枠があり就職しました。この年は学位論文を書きながら、実験と実習の授業を担当したのですが、授業で提出されたレポートに、私の指導に好意的な意見や感想を書いてくれる学生が何人もおり、「私は教員が合っているのかも…」と思うように。それから今に至っているというわけです。

【本学の特徴を活かし、学生達をどのようにご指導なさりたいですか。

今井 本学は大き過ぎず小さ過ぎない規模なので、教職員間の距離が比較的近かったのですが、最近はその特徴（良さ）が薄れているのではないかと危惧しています。現在の多様な学生を指導するには、その特徴を再認識し、教職員の連携を強化して「学生に信頼してもらおう」ことが必要です。その上で、学生に少し背伸びをさせながら、自信を積み重ねていけるように指導したいです。在学中に自分で考えて自分で手を動かし、わからないことに果敢にチャレンジして「存分にやった」という実感を味わってもらいたい。そして自分自身を持って社会で活躍するようになってくれたらいいですね。

【2025年4月に副学長になられ、新たに挑戦したい課題についてお聞かせ下さい。

今井 学部長等の経験もなく副学長を拝命し、まさに青天のへきれきです。仕事が増えればその分だけやらないことを見極め、切り捨てることも大事です。変革期にある社会に対応してい



くための新たな仕事が増加する場合、「増えた分だけ仕事を減らす」。非常に難しいですが、これができれば将来的に柔軟に対応できるので、全学へ浸透させたい課題です。さらに情報セキュリティ対策や教職員研修の復活も実現させたい。課題だらけの毎日です。

【同窓会に求めることは何でしょうか。

今井 本学への帰属意識を高めるには何が有効でしょうか。やはりキャンパス内で過ごした時間（授業、部活、卒業研究など）が楽しいものであったり、役に立つものがあったり、趣味の合う仲間との出会いだったりがあるのではないのでしょうか。そうであれば、同窓会の役目はそれらをサポートすること。例えば、大学で全国的なプロジェクトに参加するとして、学生が集まっても資金面が難しい。そういうところを同窓会にご協力いただくというサポートは有り難いです。同窓会に対して今後そのようなご相談もさせていただきたいと考えています。

【今日はありがとうございました。

Profile

1963年生まれ 熊本県出身
1982年4月 幾徳工業大学入学
1986年3月 幾徳工業大学工学部機械工学科卒業
1986年4月 幾徳工業大学入職（就職課配属）
1993年4月 神奈川工科大学（入試課）
2001年4月 神奈川工科大学（管財課）
2006年4月 幾徳学園（評議員）
2021年4月 幾徳学園（理事）
2025年6月 幾徳学園（常務理事）

「みどり」で過ごした学生達との時間は素晴らしい思い出です。学外活動や合宿を共にする中で、学生達の優秀さと熱意を肌で感じ、感動しっぱなしでした。時にはこちらがサポートされることもあり、本学の学生の能力の高さや頼もしさを実感。これらのワクワクした経験は忘れ難く、とても大切なものです。



久保田 昌彦 さん
神奈川工科大学(幾徳学園) 常務理事

学生時代に培った体力・精神力が礎に これからも輝く『キャンパス再開発』

【幾徳工業大学へ進学なさった理由をお聞かせ下さい。

久保田 中学時代に見た科学雑誌で、幾徳工業大学学長の谷下市松先生の記事を読んで「太陽エネルギー研究」に興味を持ったのが最初のきっかけです。先生は熱力学の大家で、先生の書かれた書籍は教科書として全国で使用されるような有名人でした。

【印象深い大学での学びについてお聞かせ下さい。

久保田 力学系の授業は難しく、ついていくのがやっとでした。設計製図の実習も同様でしたが、友人の支えがあって乗り切りました。卒業研究は後年学長となった小口先生の熱力学の研究室をあえて選びました。夜は23時までの「セブンイレブン」と言われるハードな研究室でしたが、卒研生達と先生のご自宅を訪れお酒を飲んだり、合宿に行ったり…。厳しいながらも充実した学生生活でした。

【大学ではどのように過ごされましたか。

久保田 極真空手部に入部。先輩方から厳しく優しくご指導いただき、体力・精神力の基礎を養いました。厳しい先輩からボコボコにされる一方、対処法を教えてくれる優しい先輩もいました。練習がとても厳しかったおかげで、体力・精神力を鍛えられたと思っています。月2回座間の道場へ行き、他大学生や社会人と練習。世界大会に出場した学生に瞬で倒されたこともあり

寮生活でしたが、一人の部屋に集まって夜中

まで話したり、レポート提出で協力し合ったり、貴重な時間をたくさん共有しました。また研究パートナーとも同じ寮で、楽しい思い出ばかりです。

【母校に就職なさった経緯と、どのような仕事をなさっておられるかお聞かせ下さい。

久保田 大学4年次に小口教授から「大学職員を募集しているので受けてみては」とアドバイスを受け、採用試験に合格。1986年4月に入職しました。母校に残れるよう先生が薦めてくださったのだと思います。1988年4月に「神奈川工科大学」へ名称が変更になり、その相乗効果で入学希望者数も増加し、嬉しく感じました。

入職当初は就職課に配属され、現在は管財課と庶務課を担当しています。2003年に始まった『キャンパス再開発』のシンボルタワー「情報学部棟」や「KAIT工房」、2009年春完成の「中央緑地公園」までの全13プランすべてに関わりました。学生や教職員、OB・OGの方々から



高い評価を受け、ときめくキャンパスづくりに貢献できたことをとても誇りに思っています。

【職員として印象深い出来事があればお教え下さい。

久保田 一番は現在も続いている「ECO推進チーム みどり」の活動です。学生のサークル活動が大学主導のECO推進チームとして2008年に立ち上がりました。大学が全面バックアップした珍しいケースです。環境問題への関心が高まった「洞爺湖サミット」の年でもありました。参加する学生達は非常に優秀で、環境ボランティア活動にも積極的に取り組んでいただき、その姿勢に感激しました。

【同窓会に関わられたのはいつからですか。また同窓会のあり方についてお聞かせ下さい。

久保田 職員になった直後、当時の伊藤会長に声をかけていただき同窓会の役員に就きました。今年3月まで「副会長」を務めましたが、本業が忙しすぎて退任させていただきました。卒業生間のコミュニケーションや在学生への応援という意味でも、同窓会の存在意義は大きいと考えています。以前から学生の声や要望を同窓会に届け、同窓会から寄贈していただいたものも多くあります。今後も引き続き同窓会の活動に期待しています。

【今日はありがとうございました。

